

なないろ

nanaïro

なないろの喜びと笑顔を
みなさまにお届けします。

秋

vol.47



今号の1枚

デイサービス虹のひろばスタッフ柳谷さんの作品

柳谷さんはアーティストでもあり、利用者様との関わりを通じて、自らのアーティスト活動の気づきを得ているそうです。右記QRコードから柳谷さんのInstagramへ。



1

理事長あいさつ 理事長／西脇 巽

参院選では消費税をどうするか論点になっている。消費税をやめると社会保障の予算が減ってしまうと言っているが、財源として軍事費削減など方法はあるはずだ。

また、介護の処遇を良くしていくために、社福虹として国を変える運動を展開していかなければならない。様々な面で大事な選挙になる。棄権をせずに投票に行ってください。



2025

7月5日(土)に法人職員総会がはまなす会館2階研修室にて行われました。役職員、理事、監事など 38名が参加し、2024年度総括と2025年度方針について討議・確認がされました。全体での特徴を紹介します。

2

特別報告 デイサービス虹のひろば

デイサービス虹のひろば 所長／工藤 宏仁



目指したいデイサービスを明確にする為、①ケアマネジャーから選ばれるデイサービスを目指す。②利用者・家族の満足度向上で利用者を獲得する。を目標に居宅介護支援事業所向けアンケートと利用者満足度アンケートを実施しました。その中身を分析する為、KJ法を用いて議論を重ねました。その内容をもとに「目指したいデイサービスの基本方針」を作成し行動しました。結果、新規件数や登録者増加に結び付いてきています。

3

特別報告 ヘルパーSTはるかぜ

ヘルパーSTはるかぜ 副主任／藤田 和美

医療・介護・福祉の予算増額を求める9.26のちまもる総行動が、東京で行われ、青森市から4人が参加しました。日比谷野外音楽堂に全国から2,400人が集まり、隣の厚生労働省に向かって、福祉分野の報酬引き上げや処遇改善を求め、政治を変えようとシュプレヒコールをしました。全国の仲間たちの奮闘に励まされた集会でした。





【ドーナツ】



生もちドーナツとコーヒーのお店 CAFE SHOP FIKA(カフェ ショップ フィーカ)に高校3年生の次男と行って来ました。このお店はEXILEのTETSUYAさんがプロデュースしているAMAZING COFFEE(アメージング コーヒー)とのコラボ店です。

毎日お店で生地から手作りの「生」「もち」ドーナツは、独自配合の小麦粉とたっぷりの卵、発酵バターで生地を作り、ふわっと、もっちり♪ドーナツと相性抜群のコーヒーやソフトクリームもあります。

大人になりつつある息子と一緒にドーナツを食べて最高の時間でした。また一緒におしゃべりしながら美味しいものを食べたいなあ。皆さんもぜひ食べてみて下さいね！

CAFE SHOP FIKA (スイーツ)

〒030-0842 青森市浦町橋本335番地17
TEL: 017-718-4711
営業時間: 10:00~19:00
定休日: 月曜日・祝日の翌日

ショートステイ虹の郷 主任／飯田 麻了

4

活動報告 福祉用具サービスセツ星

福祉用具サービスセツ星 主任／對馬 潤一

レンタルや住宅改修の依頼が増え、福祉用具の商品の学習会にも数多く参加しました。学んだ内容を日常業務にいかし、スキルアップを図っています。引き続き、2025年度は効率的な業務と職員の成長をめざし、事業所全体のレベルアップと地域からの信頼につなげ、より質の高いサービス提供を目指していきます。



法人職員総会

5

活動報告 ヘルパーSTはるかぜ

ヘルパーSTはるかぜ 所長／佐々木 大志

ヘルパーステーションはるかぜは有料なのはな受託となのはな利用者様110名の訪問介護のプランを行っています。1日120件ほどのプランがありますがシ



ルバー世代のヘルパーが主体で行なっています。サービス提供責任者はプラン数やプラン時間、プランの相談、ひとりひとりの体調管理をしています。「細くながく無理しない」をモットーにみなさん笑顔で毎日頑張っています。2025年度予算達成のために一丸となって頑張ります。

2025

原水爆禁止 世界大会に参加して

今年は広島、長崎に原爆が投下してから80年目を迎えます。私たちは「核兵器を使ってはならない。」という人道上の規範を守り抜いてきました。しかし実際にはどうでしょう。

核兵器の開発や配備が進むなど核戦力の増強は加速しています。今回の世界大会には日本のみならず世界各国から200人以上の代表が集まり核戦争阻止と核兵器廃絶を求める行動をこの大会で呼びかけました。分科会でも被爆者の話を直接聞くことができ、原爆資料館では核兵器の悲惨さを目の当たりにして声も出ませんでした。



核兵器を使ってはいけない、それはなぜなのか、非人道的な結果、残忍な状況を作り出すということを世界に広げて核兵器を使わせない、無くしていこうともしっかりと声を上げていかなければなりません。皆さんもこの機会に今一度考えるきっかけになればと思います。

ヘルパーステーションはるかぜ 副主任／藤田 和美

「障がい」を持った方が地域で生活できるように援助します！



自立訓練所は、障がいを持ちながら地域生活をおくるために、生活する力を身に付けることを目的とした事業所です。「入院生活が長くなってしまった」「自分らしい生活がしたい、でもどうしたらよいか不安」そういった方が集団生活を行い、色々な人と協力し合いながら将来を考えていきます。入所している方は、生活を整え、将来的に就労したいという目標を持っておられる方が多いです。

専門の職員が、金銭管理、服薬管理、通院、買物、洗濯、食事の準備、対人コミュニケーションなどを支援しています。利用期間は2年(理由により3年)です。家族のような温かみのある事業所です。みなさまのご連絡をお待ちしております。

自立訓練所 ほのぼの寮 所長／田沢 公庸

見学
できます

自立訓練所 ほのぼの寮

〒030-0131 青森市問屋町1丁目15-10 TEL 017 (738) 2260

営業時間 平日 8:45～16:55(土曜～12:30) 定休日 日・祝日・お盆・年末年始

●ご意見・ご要望をお待ちしております。

この機関誌に関する、ご意見・ご要望、読者の俳句・川柳・その他ご趣味などがございましたら、ぜひ下記までお寄せ下さい。



なないろ vol.47 2025年10月発行(次回発行予定 2026年1月) 発行部数/1,150枚 発行責任者/佐藤 真人
発行元/社会福祉法人「虹」 〒030-0131 青森県青森市問屋町1丁目15-10 TEL 017(738)1133 <https://nijiweb.net/>
配布先/社会福祉法人 虹 本部・デイサービス虹のひろば・デイサービス虹のひろば新城・ショートステイ虹の郷・ヘルパーステーションはるかぜ
・居宅介護支援事業所 野いちご・地域活動支援センター八甲・自立訓練所 ほのぼの寮・グループホームあおぞら・福祉用具サービス七ツ星

